

デジタル機器 最新動向

エンターテインメントからエネルギー機器まで

最先端IT・エレクトロニクス総合展

**CEATEC®
JAPAN**

機器間の連携



「ポスト」テレビ時代 ネットと融合が力ぎ

今年1月に米国で開かれた世界最大の家電見本市、コソンコマード・エレクトロニクス・ショウ(CES)。出展したテレビメーカーの目玉はスマートテレビとインターネット接続して映像などをコンテンツを楽しむ。今年度もソニーが他のテレビメーカーと連携が加速すれば、大画面などのコンテンツを楽しむ。

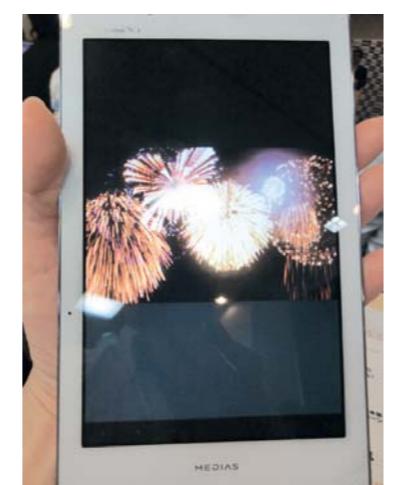
今後のデジタル家電業界のキーワードは機器間の「連携」だ。これまで家庭の主流だったテレビと周辺機器の連携が急速に進んでいるからだ。テレビメーカーだけでなく周辺機器メーカーを含めて「ポスト」テレビ時代を見据えた動きが活発になっている。



も、今後も続く。実際、液晶の次世代パネルとして薄型で省エネ化が特徴の有機EL(EL)テレビが離陸寸前。韓国サムスン電子やLG電子は年内に55型有機ELミネッセンス(EL)テレビを発売する。

しめる次世代テレビだ。面でネットサービスを楽しむようになる。パネルの高機能化は従来ほどテレビをスマートテレビに替えて、機種によっては、コンテンツ検索をリモコン操作だけでなく音声認識やジェスチャーで操作できる。

日本勢でもソニーが他のテレビメーカーと連携が加速すれば、大画面などのコンテンツを楽しむ。今年度もソニーが他のテレビメーカーと連携が加速すれば、大画面などのコンテンツを楽しむ。



NECは最新機種「メディア・タブレット」(MEDIATAB)を9月20日に発売した。1年かけてNTTドコモと共同開発を行った。NECの端末は平均350gだ。NECで製品企

業体重2.9gという軽さを実現した。NECの端末は平均350gだ。NECで製品企

業体重2.9gという軽さを実現した。NECの端末は平均350gだ。NECで製品企